

2 補助事業計画書

事業者名	最上町		
事業所名	最上町介護老人保健施設 やすらぎ 【事業所番号： 0652580002】		
介護サービスの種類	介護福祉施設サービス	定員数	50人
介護ロボットの製品名 通信環境整備の製品名 導入時期及び台数	[製品名] 電動昇降フルリクライニングキャリアFC-320 [導入時期] 令和5年12月25日 [導入台数] 1台		
購入又はリースの別 ※該当する方に○を記入	○購入・リース（契約期間 年 月～ 年 月）		
事業概要（現在の問題点・導入台数の妥当性・職員との導入意義の共有）	特殊浴槽で入浴されている利用者は、全体（50名）の約7割33名と年々増加傾向にある。居室から浴室（洗身）までの以上介助が2回、入浴後にベッドへ戻るまでは計4回の移乗介助が必要でありスタッフの腰の負担と利用者の安全を考慮し、現在2人で介助している。介護現場から腰痛予防と介護事故防止のため車椅子とベッド、車椅子とストレッチャー間の高低差を埋める補助機導入の希望あり、上記製品を導入することで一人での移乗、腰への負担軽減、事故を防止することができる。		
機器を導入することにより達成する目標（機器導入の翌年から3年間、年度毎）	○導入後（翌年）1年目 安心安全な移乗が可能となり、腰への負担が減る事で介護職員の腰痛予防に努める共に、介護事故の発生を防ぐ。 ○2年目 介護職員への聞き取り調査を行い、身体的な負担軽減と入浴業務の効率化を図る。 ○3年目 介護職員への聞き取り調査を行い、身体的な負担の軽減と入浴業務の効率化を図る。		
期待される効果等	○導入後（翌年）1年目 介護職員、利用者の双方が移乗時の恐怖心やや事故のリスクが減り、介護職員の腰への負担が軽減する。 ○2年目 安心、安全な移乗介助が行える事で入浴業務の効率化が図られ、介護職員の腰への負担が軽減する。 ○3年目 入浴業務の効率化と職員への負担軽減が労働環境の改善につながり、働きやすい職場づくりに資することができる。		
効果検証の方法（効果に関するデータを客観的な評価指標に基づいて記録）	○使用状況日誌を作成し、使用時のスタッフや利用者の感想、腰への負担等を把握し、入浴の移乗時以外の使用方法の検討や今後の追加購入についても検討していく。		

3 事業・導入スケジュール

期間（予定）	内容	経費概要	備考
5年6月14日 ～ 5年6月17日	特殊浴対象者とリクライニング対象者の増加で介護スタッフの腰への負担が大きいと、入浴改善班に問題提起あり、検討会を開催。		
5年6月29日 ～ 5年7月4日	介護、リハビリ、入浴改善班での協議の結果介助時の負担軽減を目的に電動昇降車椅子の導入を予定し、導入機種を選定を行う。		
5年8月18日 ～ 5年8月18日	本事業費補助金に係る事前協議書を提出する		
5年10月10日 ～ 5年10月10日	本事業費補助金に係る内示を受ける。		
5年10月20日 ～ 5年10月20日	本事業費補助金に申請書を提出。		
5年11月20日 ～ 5年11月20日	本事業費交付金に係る交付決定を受理し、事業を実施する。		
5年12月25日 ～ 5年12月25日	電動昇降フルリクライニング車椅子を購入		
6年1月5日 ～ 6年1月26日	機器の操作方法を習得してもらうため、スタッフへ操作方法の説明会を実施する。		
6年1月20日 ～ 6年1月20日	実績報告書を提出する。		
6年3月31日 ～ 8年3月31日	3年目まで効果検証を実施し、導入による移乗方法等の見直しを検討する。		
6年4月1日 ～ 6年4月1日	3年目まで効果検証の結果に基づいた業務改善の取り組みを検討し、導入機器の状況報告書及び事業実施状況調書を提出する。		

※スケジュール作成の留意点について

スケジュールにおける導入・活用・効果検証にあたり、実施方法、体制づくり、業務の見直し等について、以下の点を反映させること

ア業務の状況分析・問題点の洗い出し、イ機種選定・導入計画の検討、ウ導入担当者・チーム体制整備（導入・活用・効果検証の各担当者）、エ実際に機器を使用する者（介護職員等）の意見聴取、オ機器導入時期、カ職員の習熟及び教育・研修計画（マニュアル整備等）、キ導入によるケア方法の見直し予定、ク効果検証の

実施、ケ効果検証の結果に基づいた業務改善の取組検討（実績報告から3年目までの取組）

2 補助事業計画書

事業者名	有限会社エーベック		
事業所名	人生の楽園 【事業所番号：0670102169】		
介護サービスの種類	認知症対応型共同生活介護	定員数	9人
介護ロボットの製品名 通信環境整備の製品名 導入時期及び台数	[製品名] リフト付きシャワーキャリア LS-500 [導入時期] 令和6年3月1日 [導入台数] 1台		
購入又はリースの別 ※該当する方に○を記入	<input checked="" type="radio"/> 購入・リース (契約期間 年 月～ 年月)		
事業概要 (現在の問題点・導入台数の妥当性・職員との導入意義の共有)	① 現在の問題点 歩行が困難な利用者や、浴槽を跨げない利用者もあり、利用者の身体状況に応じて二人体制による入浴介助の場合もあり、職員の身体的負担が多くなっている。 浴槽に入れる方でも、転倒等のリスクがあり、職員は常に体を支えていなければならない、身体的な負担が大きい。 利用者の身体状況によりシャワー浴対応となり、利用者の満足度は低く、浴槽にゆっくり浸かれる時間を作ってあげたい。 ② 導入台数の妥当性 定員9名が週に2～3回の入浴を予定しているので、1日あたり3～4名が入浴している。また、併設の小規模多機能事業所の利用者のうち5～6名も利用する予定。 ③ 職員との導入意義の共有 職員会議時に今回の機器導入について管理者が、説明を行った。利用者のQOL向上と、職員の身体的負担の軽減につながるため、職員全員が望んでいる		
機器を導入することにより達成する目標 (機器導入の翌年から3年間、年度毎)	○導入後(翌年)1年目 全職員が、メーカー担当者から機器の正しい使用方法のレクチャーを受け、入浴介助時の事故防止と安全性の向上を図る。 ○2年目 導入した事で、職員の身体的負担を軽減し、職場環境の改善を行う。 入浴日数・時間の増加図り、利用者の満足度を高める。 職員と利用者のアンケート調査を行い、不安や満足度の確認を行う。 ○3年目 職員の身体的負担を軽減し、身体的理由(腰痛)による離職率をゼロにする。		

期待される効果等	○導入後(翌年)1年目 ロボット導入により簡単な操作で安全でスピーディーな介助が出来き、業務の効率化につながる。職員が利用者の体を支える必要がなくなったので、職員の身体的負担軽減につながる。 シャワー浴対応の利用者も湯船につかってゆっくり入浴を楽しんでいただくことが出来る。 ○2年目 身体的負担が軽減されることにより、職場環境の改善につながる。 著しく身体機能が低下している利用者も安全にゆっくり入浴できる。 職員の負担軽減により、利用者の入浴する時間等を増やすことができる。 ○3年目 身体的負担が解消されることにより、離職率の改善につながる。安心して浴槽に浸かれることにより、利用者のQOLの向上につながる。
効果検証の方法 (効果に関するデータを客観的な評価指標に基づいて記録)	介護日誌に機器を使用した旨記録を残し、毎月の職員会議の際に負担の軽減の度合いや利用者の満足度の向上の有無について、職員間で情報を共有し効果を検証する。

3 事業・導入スケジュール

期間(予定)	内容	経費概要	備考
令和5年8月10日 ～令和5年8月20日	会議で業務の状況分析・問題点の洗い出し、機種選定・導入計画の検討、導入担当者・チーム体制整備を作る		
令和5年8月16日 ～令和5年8月16日	メーカー担当者からヒヤリング		
令和5年8月22日 ～令和5年9月30日	実際に機器を使用する者の意見聴取、機器導入時期の検討、職員の習熟及び教育・研修計画の作成及び導入によるケア方法の見直しを行う		
令和6年2月1日 ～令和6年3月20日	浴室の改修工事		
令和6年3月10日 ～令和6年3月20日	介護ロボットの設置 メーカー担当者から機器の正しい使用方法のレクチャーを受ける	662千円	

令和7年3月1日 ～令和7年3月31日	併設事業所と共同で職員及び利用者アンケートを行い、会議の中で、効果検証の実施、効果検証の結果に基づいた業務改善の取組検討行う。		
令和8年3月1日 ～令和8年3月31日	併設事業所と共同で職員及び利用者アンケートを行い、会議の中で、効果検証の実施、効果検証の結果に基づいた業務改善の取組検討行う。		
令和9年3月1日 ～令和9年3月31日	併設事業所と共同で職員及び利用者アンケートを行い、会議の中で、効果検証の実施、効果検証の結果に基づいた業務改善の取組検討行う。		

※スケジュール作成の留意点について

スケジュールにおける導入・活用・効果検証にあたり、実施方法、体制づくり、業務の見直し等について、以下の点を反映させること

ア業務の状況分析・問題点の洗い出し、イ機種選定・導入計画の検討、ウ導入担当者・チーム体制整備（導入・活用・効果検証の各担当者）、エ実際に機器を使用する者（介護職員等）の意見聴取、オ機器導入時期、カ職員の習熟及び教育・研修計画（マニュアル整備等）、キ導入によるケア方法の見直し予定、ク効果検証の実施、ケ効果検証の結果に基づいた業務改善の取組検討（実績報告から3年目までの取組）

2 補助事業計画書

事業者名	有限会社エーベック		
事業所名	人生の楽園 時悠館 【事業所番号：0690100250】		
介護サービスの種類	小規模多機能型居宅介護	定員数	25人
介護ロボットの製品名 通信環境整備の製品名 導入時期及び台数	[製品名] リフト付きシャワーキャリア LS-500 [導入時期] 令和6年3月1日 [導入台数] 1台 (併設の認知症対応型生活介護「人生の楽園」に設置)		
購入又はリースの別 ※該当する方に○を記入	○購入・リース(契約期間 年 月～ 年月)		
事業概要(現在の問題点・導入台数の妥当性・職員との導入意義の共有)	① 現在の問題点 歩行が困難な利用者や、浴槽を跨げない利用者もあり、利用者の身体状況に応じて二人体制による入浴介助の場合もあり、職員の身体的負担が多くなっている。 浴槽に入れる方でも、転倒等のリスクがあり、職員は常に体を支えていなければならず、身体的負担が大きい。 利用者の身体状況によりシャワー浴対応となり、利用者の満足度は低く、浴槽にゆっくり浸かれる時間を作りたい。 ② 導入台数の妥当性 定員25名・通い15名の利用者のうち、車いす使用者5～6名が利用する予定。併設の認知症対応型共同生活介護、利用者3～4名が利用する予定 ③ 職員との導入意義の共有 職員会議時に今回の機器導入について管理者が、説明を行った。利用者のQOL向上と、職員の身体的負担の軽減につながるため、職員全員が望んでいる		
機器を導入することにより達成する目標(機器導入の翌年から3年間、年度毎)	○導入後(翌年)1年目 全職員が、メーカー担当者から機器の正しい使用方法のレクチャーを受け、入浴介助時の事故防止と安全性の向上を図る。 ○2年目 導入した事で、職員の身体的負担を軽減し、職場環境の改善を行う。 入浴日数・時間の増加図り、利用者の満足度を高める。 職員と利用者のアンケート調査を行い、不安や満足度の確認を行う。 ○3年目 職員の身体的負担を軽減し、身体的理由(腰痛)による離職率をゼロにする。		

期待される効果等	○導入後(翌年)1年目 ロボット導入により簡単な操作で安全でスピーディーな介助が出来き、業務の効率化につながる。職員が利用者の体を支える必要がなくなったので、職員の身体的負担軽減につながる。 シャワー浴対応の利用者も湯船につかってゆっくり入浴を楽しんでいただくことが出来る。 ○2年目 身体的負担が軽減されることにより、職場環境の改善につながる。 著しく身体機能が低下している利用者も安全にゆっくり入浴できる。 職員の負担軽減により、利用者の入浴する時間等を増やすことができる。 ○3年目 身体的負担が解消されることにより、離職率の改善につながる。安心して浴槽に浸かれることにより、利用者のQOLの向上につながる。
効果検証の方法(効果に関するデータを客観的な評価指標に基づいて記録)	介護日誌に機器を使用した旨記録を残し、毎月の職員会議の際に負担の軽減の度合いや利用者の満足度の向上の有無について、職員間で情報を共有し効果を検証する。

3 事業・導入スケジュール

期間(予定)	内容	経費概要	備考
令和5年8月10日 ～令和5年8月20日	会議で業務の状況分析・問題点の洗い出し、機種選定・導入計画の検討、導入担当者・チーム体制整備を作る		
令和5年8月16日 ～令和5年8月16日	メーカー担当者からヒヤリング		
令和5年8月22日 ～令和5年9月30日	実際に機器を使用する者の意見聴取、機器導入時期の検討、職員の習熟及び教育・研修計画の作成及び導入によるケア方法の見直しを行う		
令和6年2月1日 ～令和6年3月20日	浴室の改修工事		
令和6年3月10日 ～令和6年3月20日	介護ロボットの設置 メーカー担当者から機器の正しい使用方法のレクチャーを受ける	928千円	

令和7年3月1日 ～令和7年3月31日	併設事業所と共同で職員及び利用者にアンケートを行い、会議の中で、効果検証の実施、効果検証の結果に基づいた業務改善の取組検討行う。		
令和8年3月1日 ～令和8年3月31日	併設事業所と共同で職員及び利用者にアンケートを行い、会議の中で、効果検証の実施、効果検証の結果に基づいた業務改善の取組検討行う。		
令和9年3月1日 ～令和9年3月31日	併設事業所と共同で職員及び利用者にアンケートを行い、会議の中で、効果検証の実施、効果検証の結果に基づいた業務改善の取組検討行う。		

※スケジュール作成の留意点について

スケジュールにおける導入・活用・効果検証にあたり、実施方法、体制づくり、業務の見直し等について、以下の点を反映させること

ア業務の状況分析・問題点の洗い出し、イ機種選定・導入計画の検討、ウ導入担当者・チーム体制整備（導入・活用・効果検証の各担当者）、エ実際に機器を使用する者（介護職員等）の意見聴取、オ機器導入時期、カ職員の習熟及び教育・研修計画（マニュアル整備等）、キ導入によるケア方法の見直し予定、ク効果検証の実施、ケ効果検証の結果に基づいた業務改善の取組検討（実績報告から3年目までの取組）

2 補助事業計画書

事業者名	社会福祉法人回春堂		
事業所名	特別養護老人ホーム回春堂【事業所番号：0670401637】		
介護サービスの種類	介護老人福祉施設	定員数	60名
介護ロボットの製品名 通信環境整備の製品名 導入時期及び台数	[製品名] パンジーi (スタンダード) [導入時期] 令和6年2月1日 [導入台数] 1台		
購入又はリースの別 ※該当する方に○を記入	○購入・リース (契約期間 年 月～ 年月)		
事業概要 (現在の問題点・導入台数の妥当性・職員との導入意義の共有)	入所者の重度化により、既存の個浴設備では入浴が困難となっており、別フロアに設置しているリフトキャリア付きの個浴設備を使用せざるを得なく、入浴に関する業務が非効率的となっている。また、介護職員の慢性的不足に高齢化も伴い、個々の職員の業務負担が年々増大している。 人材不足を補いつつ、働き手の高齢化、入所者の重度化に対応するため上記製品を導入し、介護職員の労働環境の改善を図る。		
機器を導入することにより達成する目標 (機器導入の翌年から3年間、年度毎)	○導入後 (翌年) 1年目 対象機器導入に際し説明会の実施及び職員研修を定期的実施することによって、機器操作に習熟できる環境を整える。 ○2年目 入浴業務に関する労力の大幅な軽減、時間短縮等の業務内容の改善を図る ○3年目 入所者の重度化による入浴業務における業務負担を軽減することで介護職員の労働環境の改善を図る		
期待される効果等	○導入後 (翌年) 1年目 移動時間が省くことができ、更に機器操作を習熟することで入浴業務に関する時間を短縮できる。 ○2年目 入浴業務に関する介護職員の身体的・心理的負担の軽減が図れる。 ○3年目 介護職員の労働環境を改善することで離職率の低減が図れる		
効果検証の方法 (効果に関するデータを客観的な評価指標に基づいて記録)	介護職員にアンケートを実施して、機器を使用した場合・機器を使用しない場合の入浴業務の効率性・負担感について比較する。 機器導入前3年間と機器導入後の3年間について、介護職員の離職率を比較する。		

3 事業・導入スケジュール

期間 (予定)	内容	経費概要	備考
令和5年9月～ 令和5年10月	入浴業務における問題点を洗い出す		
令和5年11月	機器を導入する部署にて活用方法を検討する		
令和5年12月	機器使用に関する説明会及び職員研修計画を策定する		
令和6年1月	機器を導入する	2,090,000円	
令和6年1月	メーカーによる機器使用方法説明会を実施する		
令和6年1月	機器使用に関する職員研修を実施する		
令和6年2月	機器の使用を開始する		
令和6年3月～ 令和6年12月	機器使用に関する問題点等を定期的に洗い出し、業務を改善していくとともに、研修を定期的実施する		
令和7年2月 令和8年2月	効果検証の実施 (職員アンケート調査)		
令和9年2月	効果検証の実施 (介護職員の離職率検証)		

※スケジュール作成の留意点について

スケジュールにおける導入・活用・効果検証にあたり、実施方法、体制づくり、業務の見直し等について、以下の点を反映させること

ア業務の状況分析・問題点の洗い出し、イ機種選定・導入計画の検討、ウ導入担当者・チーム体制整備 (導入・活用・効果検証の各担当者)、エ実際に機器を使用する者 (介護職員等) の意見聴取、オ機器導入時期、カ職員の習熟及び教育・研

修計画（マニュアル整備等）、キ導入によるケア方法の見直し予定、ク効果検証の実施、ク効果検証の結果に基づいた業務改善の取組検討（実績報告から3年目までの取組）